



杉 浦 敏 議員

コミュニティバスは東部ルート改善、バス停復活を

問

コミュニティバスについて聞く【関連記事11・12面・[1](#)】。

6月から運行した公共バス。従来の市バスと比べ①運賃有料化(無料→大人200円)②ダイヤ改正③年中運行、早朝・夜間便設定―等を導入し、路線バス色を強めた。

国の補助が得られる3年間の実証運行中で、バス業務は三重交通株式会社に委託している。

(1) 住民から、①乗り継ぎが不便②バス停が減少③十山東部ルートが一方通行④近鉄佐古木駅で30分以上の待ち合わせ時間⑤片道200円は高い―などの問題点が指摘されている。

わたしが、7月の利用実績を20年度(月平均)と比較し、分析した結果【[1](#)】をどう評価するか。

①近鉄弥富駅南口の大増(月平均73人→906人)②近鉄佐古木駅の増加(月平均57人→278人)③早朝の海南病院行きの要望に一定程度対応④総合福祉センター

が減少(月平均745人→423人)⑤十四山総合福祉センターが減少(月平均214人→129人)⑥いこいの里が減少(月平均396人→261人)⑦臨海部の利用が少ない

(2) アンケートはどのように行うのか。

(3) 住民の声に伝える最大ポイントは、①(乗り継ぎを改善し)南北分断の解消②十山東部ルートを左右両



▶ 9月に行われたバスのアンケート

回りにする③廃止されたバス停復活―ではないか。

9月にアンケートを実施したい

答 総務部長

(1) 議員の分析は貴重な意見として参考にしたい。

(2) 9月中に、住民2千人と臨海部企業127社を対象にアンケートを実施したい。

(3) アンケート調査を元に、改善根拠にしたい。

一部からの苦情ではなく、最善方法をデータ分析し、その方向に持っていきたい。

中学生の平和派遣事業実現を

問

平和行政に対する取り組みを聞く。

(1) 平和市長会議の参加団体は全国45・5%で、県内でも蟹江町、飛島村など16市町村が参加している。

市も参加し、核廃絶に向け努力してはどうか。

(2) 愛西・あま市、蟹江町、飛島村等では広島への中学生派遣を行っている。市も派遣を実現してほしいがどうか。

23年度から中2全員派遣を検討

答 市長

(1) 11年に平和都市宣言を行い、図書館等では原爆パネル展を開催し、平和行政の推進に努めている。

加盟は他市町村の動向も考えながら、今後、前向きな検討課題としていきたい。

答 教育長

(2) 将来の国際社会を生きる子どもたちにとって、平和について学習することは大変重要だと思っている。

今後、教育委員会、中学校、PTAと協議し、23年度から中学2年生全員を広島に派遣する方向で検討していく。